

## 千丸台保育園の自己評価を終えて(令和5年度)

総合評価 B

今年度は、若手職員の経験の場を積極的に増やし、業務に責任が持てる様、また経験したことで自信が持てる様にしました。

経験のある職員はキャリアアップ研修の受講を充実し、保育の質を高めるための取り組みを強化しました。

コロナが5類へ移行したことから保育の幅も広がり、異年齢での関わりを多く取り入れ、人との関わりから保育目標である『思いやりのあるたくましい子の育成』へとつながりました。また園の行事に地域と関わりを持った内容を取り入れる事が出来たので地域に根差した保育園に近づく事ができました。

評価からは、研修の受講はすすんでいても研修内容を職員全体に周知する事・保育業務に反映する部分が不足していたので、来年度は研修報告の時間を作り、職員で共有できるように改善していきたいと思えます。

園長 相原 陽子